

施策番号	2105		
施策名	まちづくりを支えるしくみづくり		
概要	さまざまな地域でそれぞれの地域特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、まちづくり活動支援やしくみづくりを推進する。また、京都市景観・まちづくりセンターと連携して情報発信、相談事業等の支援を行う。		
担当局・部室	都市計画局・都市企画部	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に関係する主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン、職住共存地区整備ガイドプラン、新・京都市南部創造まちづくり推進プラン、らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム		

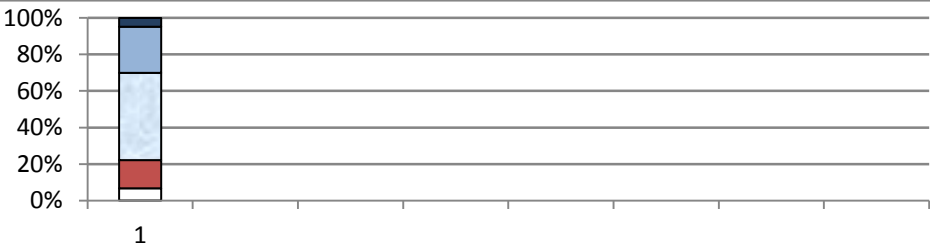
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	地区計画、建築協定及び景観協定の締結数(件)	c	e	126	127	4件増	25.0%	d	1.00
2	景観・まちづくりに関する相談件数(件)	-	a	1,213	994	736件	135.1%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		C	C	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。	23 4.8%	121 25.3%	229 47.8%	74 15.4%	32 6.7%	479	c
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						C



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						24 年度	C
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	c			
(重み付けの理由) 客観指標は地区計画等の締結数及び景観・まちづくりに関する相談件数としており、少なくともこれらの対象となる地域では地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化が展開されていると判断されるが、全ての地域の自主的なまちづくり活動を捕捉したものではないため、全般的な状況が捉えられる市民生活実感調査を優先している。							24 年度	C
(原因分析) ・地域の主体的なまちづくり活動に対する支援は、これまでから様々な地域で行なっており、まちづくり活動に積極的に取り組む地域が広がってきたことから、多くの市民が身近にまちづくり活動に参加できる機会が増え、市民生活実感としてcという一定の評価を得た結果となった。 ・平成24年度は、評価上の地区数に関して、地区計画が2件増だったが、建築協定は有効期間満了による1件の失効があったため、合計すると前回数値から1件増となり、客観指標においてdという評価となった。 ・平成24年度の景観・まちづくりに関する相談件数は、京都市景観・まちづくりセンターによる講座の開催やまちづくりに関する情報発信等の取組の結果、市民のまちづくりに対する意識が高まってきており、平成19年度以降、2番目に多い相談件数となった。							23 年度	C

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	都市計画運営経費	157,502	163,617	良い	都市計画局
2	まちづくり条例の運用	8,243	8,343	—	都市計画局
3	まちづくりに係る調査・企画・支援事業	60,815	57,145	良い	都市計画局
4	京都市景観・まちづくりセンター	106,636	110,732	—	都市計画局
5	都市計画施設等の見直し	36,462	30,239	—	都市計画局
6	「京都市の都市計画」の改訂	15,412	—	—	都市計画局
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・京都市都市計画マスタープランに基づき、魅力的なまちの実現に向けて、様々な地域でそれぞれの地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、引き続き、京都市景観・まちづくりセンターや各区役所と連携して、まちづくり活動の支援や仕組みづくりを推進していく。
・京都市景観まちづくりセンターと連携しながら、職住共存地区に限らず市域全体を対象に、まちづくりビジョンの作成や、都市計画手法の活用を念頭に置いた地域まちづくり支援を行う。

施策名	2105	まちづくりを支えるしくみづくり				
-----	------	-----------------	--	--	--	--

指標名	地区計画、建築協定及び景観協定の締結数（件）					
-----	------------------------	--	--	--	--	--

担当課	都市づくり推進課		連絡先	222-3503		
-----	----------	--	-----	----------	--	--

1 指標の説明

地区計画、建築協定及び景観協定の締結数

2 指標の意味

地域の魅力の高まりにつながる地域まちづくり活動の活性化状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	126	127	1件増	4件増	平成32年度の目標達成のために当年度達成すべき数値（今後10年間で155件の締結を達成するため、年平均3.2件以上締結）	25.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

前回数値と比較し、
a：4件以上増
b：3件増
c：2件増
d：1件増
e：0件以下

6 基準説明

・目標値を達成すればa評価
・以下1件刻みでb～e評価

※なお、協定の更新に伴い複数の地区を統合した場合、地区数が減少することになるが、協定の区域は変わらないため、地区数の減はカウントしない。

7 評価結果

23	24	25
c	e	d

指標名	景観・まちづくりに関する相談件数（件）					
-----	---------------------	--	--	--	--	--

担当課	都市づくり推進課		連絡先	222-3503		
-----	----------	--	-----	----------	--	--

1 指標の説明

景観・まちづくりセンターで受け付けた景観・まちづくり活動相談及び京町家なんでも相談の合計件数

2 指標の意味

市内各地域における地域まちづくりの機運の高まりを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	1,213	994	219件減	736件	平成19年度以降の年間相談件数の平均値	135.1%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

目標数値と比較し、
a：130%以上
b：110%以上130%未満
c：90%以上110%未満
d：70%以上90%未満
e：70%未満

6 基準説明

・目標値に対する達成度が100%の場合をc評価の中心と設定
・20%刻みでa～e評価

7 評価結果

23	24	25
-	a	a